

インドを拠点とする某小売企業が Enterprise Threat Protector を活用してネットワークセキュリティを一元化



状況

インドに本社を置く、家具および家庭用品の某有名小売企業は、全国各地にオフィス、店舗、倉庫を保有しています。同社は、地元企業や大手メーカーと提携し、幅広い商品をお客様に提供しています。オンライン小売サイト、アプリ、店舗を通じて商品を販売し、ヘナ染物のワークショップや料理教室などのライブイベントも店舗で開催しています。また、ビジネスの成長と併せて、企業の社会的責任、従業員の満足度、イノベーション文化の維持にも優先的に取り組んでいます。

課題と目標

オンラインとオフラインでさまざまな取り組みが同時進行する状況で、同社の CTO はネットワークセキュリティ対策を強化したいと考えていました。特に、インターネットトラフィックの保護強化と、全社および店舗を対象とした利用規定 (AUP) の作成に注力したいと考えていました。AUP には、事業のタイプ、オフィスや倉庫のユーザーの多様性、家族向け店舗の常連客のタイプを考慮したうえで、許容されるものが明確に示されている必要があります。また、ユーザー（企業ネットワークとゲストネットワークのどちらにアクセスするのか、どのようなタイプのコンテンツが利用されるのか、接続に必要なセッション時間の長さなど）に応じて、アクセスレベルを変えることも不可欠でした。そのため、汎用的に機能するのではなく、調整および修正可能なフィルターとして機能するポリシーが必要でした。このようなポリシーとそれをサポートするサービスは、インターネットの傾向や新たな脅威、変化するユーザーニーズに対応できるよう、動的、俊敏、かつ容易にリアルタイム更新可能である必要がありました。最後に、ハードウェアやソフトウェアのインストールが不要で、簡単に導入でき、管理がシンプルなクラウドベースのソリューションである必要がありました。数多くの店舗、倉庫、オフィスが各地に点在するため、ポリシー管理のシンプル化と一元化がキーでした。

Enterprise Threat Protector が選ばれた理由

同社の CTO は、Enterprise Threat Protector のことを知り、Akamai とミーティングを持ちました。Akamai はただちに同社をトライアルに登録し、ETP はその日のうちに利用できるようになりました。CTO がまず感心したのはその設定の容易さでした。ネットワーク上でマルウェアと CnC トラフィックを含む標的型脅威の検出と緩和が行われたことに、さらに驚きました。

Enterprise Threat Protector のすべての設定と管理は、クラウドベースの Akamai Luna ポータルから実行できるので、場所や時間を問いません。この点は CTO にとっての重要な要件でした。さらに、ポリシー管理も迅速かつ容易です。変更内容は数分でプッシュされ、すべての拠点と従業員を確実に保護できます。

CTO が最も興味を示したのは、Enterprise Threat Protector の標準機能として利用できるリアルタイムダッシュボードに、DNS トラフィック、脅威イベント、AUP アクティビティの概要が表示されることでした。アクティビティの詳細情報が知りたければ、ダッシュボードの各要素から確認することもできます。

会社

インドを拠点とする小売企業

業種

小売

ソリューション

Enterprise Threat Protector

主な影響

- ポリシーの一元管理によりすべてのロケーションを保護および防御する
- 進化するインターネット上の脅威を事前に緩和する
- 全社的な利用規定を企業全体および小売店舗全体に実装する



世界最大、かつ最も信頼性の高いクラウド・デリバリー・プラットフォームを有する Akamai は、デバイスや場所に関係なく、最高、かつ最もセキュアなデジタル体験をお客様に提供します。Akamai のプラットフォームは、比類のないスケールで展開されており、お客様に優れたパフォーマンスとセキュリティを提供しています。ウェブ/モバイルパフォーマンス、クラウドセキュリティ、エンタープライズアクセス、ビデオ・デリバリー・ソリューションによって構成される Akamai のソリューションは、優れたカスタマーサービスと 365 日 /24 時間体制のモニタリングによって支えられています。グローバルトップの金融機関、e コマース事業者、メディア・エンターテインメント企業、政府機関等が、Akamai を信頼する理由について、www.akamai.com/jp/ja/ または blogs.akamai.com/jp/ および Twitter の @Akamai_jp でご紹介しています。公開日: 2018 年 9 月。